

第
4383
号

(2-2)



1994年1月6日創刊・毎日発行

リーダスクラブFAXニュース

(2011年)平成23年 12月 12日 月曜日

発行所

三輪厚二税理士事務所／顧問料不要の三輪会計事務所（編集・発行：税理士 三輪厚二）
大阪市中央区備後町 2-4-6 TEL：06-6209-7191 WEB：<http://www.zeirishi-miwa.co.jp>

⇩ 平成22年、相続税の調査状況

Q：平成22年の相続税の調査状況が公表されたようですが、どのようになっていますか？

A：次のようになっています。

【解説】

さきごろ、国税庁から、平成22年事務年度（平成22年7月から平成23年6月まで）の相続税の調査状況が公表されました。

概要は、次のとおりです。

- ① 実地調査件数、申告漏れ件数
実地調査の件数は13,668件（昨対▲195件）で、そのうち申告漏れ等の間違いがあった件数は11,276件（昨対▲472件）でした。間違いがあった割合は82.5%（昨年84.7%）でした。
- ② 申告漏れ課税価格
申告漏れの課税価格は3,994億円（昨対▲1億円）で、調査1件当たりの申告漏れ課税価格は2,922万円（昨対+40万円）でした。
- ③ 申告漏れ財産
申告漏れとなった財産の内訳は、現金預金が1,332億円（昨対+13億円）で一番多く、ついで土地の719億円（昨対+88億円）、有価証券の631億円（昨対▲178億円）でした。
- ④ 追徴税額
追徴税額は、797億円（昨対▲59億円）で1件当たりでは583万円（昨対▲35万円）でした。
- ⑤ 重加算税の賦課件数
重加算税の賦課件数は1,897件（昨対▲73件）で、賦課割合は16.8%（昨年と同じ）でした。

